事業シート（平成31年度予算）

事業名	11100　農業集落排水施設建設事業費			予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全
					款	1	農業集落排水事業費		個別分野	5	上下水道
					項	1	農業集落排水施設費		施策概要	5	下水道施設の整備
担当課	水道部　下水道課	内線	2264		目	1	農業集落排水施設建設費	根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画		

市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・施設・設備の機能診断結果に基づき更新・長寿命化を図る。

総合計画等　主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
生活排水処理率	90.4%		93%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.8%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		H29 最終予算	H29 決算 (a)	H30 当初予算 (c)	H30 最終予算	H30 決算 (b)	H30 増減 (b)-(a)
		41,021	40,825	40,981			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（市債　）	25,000	25,000	28,000			
その他		16,021	15,825	12,981			
個票枝番	主な事業内容						
	農業集落排水施設長寿命化整備	40,000	39,946	40,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成（Action）

（千円）

H31予算 要求額	H31予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)
		実施計画額	40,000
51,454	40,992	40,992	11
23,000	28,000	28,000	0
28,454	12,992	12,992	11

査定額	説明
40,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等（Check）　H30.8実施

事業実績	・処理施設の機能維持・長寿命化を図るための設備更新
評価等	・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新を計画的に行っている。 ・施設は供用開始から時間が経過し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直していく必要がある。
次年度以降の考え方（担当課）	・計画的に長寿命化工事を実施する。 ☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等（Check）　H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H30完了 ☐ H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	・終末処理場の長寿命化工事を計上 ・老朽化で能力の低下したマンホールポンプの更新費用を計上
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート（平成31年度予算）

事業名	21100　一般管理費		
担当課	水道部　下水道課	内線	2264

予算			
会計	8	農業集落排水事業特別会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費

総合計画			
基本分野	5	基盤・安全
個別分野	5	上下水道
施策概要	5	下水道施設の整備
根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画	

市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・農業集落排水事業の受益者に対し、受益者分担金及び農業集落排水使用料を適正に賦課、徴収することで収入の確保を図り、安定した農業集落排水事業の運営を行う。 ・整備した施設の有効利用と使用料収入が確保できるよう、水洗化の普及を促進し、できるだけ多くの市民に農業集落排水施設を使用してもらう。	概要	・受益者分担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う。 ・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と利用を促進する。

総合計画等　主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
生活排水処理率	90.4%		93%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.8%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		H29 最終予算	H29 決算 (a)	H30 当初予算 (c)	H30 最終予算	H30 決算 (b)	H30 増減 (b)-(a)
		32,328	20,374	19,887			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（市債　）	20,000	13,400	10,000			
その他		12,328	6,974	9,887			
個票枝番	主な事業内容						
	水洗化資金融資預託金	2,000	250	2,000			
	一般管理事務費	10,328	6,700	7,887			
	下水道事業地方公営企業移行事業	20,000	13,424	10,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成（Action）

（千円）

H31予算 要求額	H31予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	査定額	説明
			16,300		
18,998	10,063	10,063	△ 9,824		
				2,000	
				8,063	
			△ 10,000		
18,998	10,063	10,063	176		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等（Check）　H30.8実施

事業実績	・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託を行った。 ・企業会計化に向けた資産調査評価業務委託を行った。 ・上水道課と連携を図り、水道料金・下水道使用料の滞納整理を実施 ・水洗化啓発文書の送付、戸別訪問等による水洗化向上施策の実施 ・未接続世帯へのアンケート調査	
評価等	・恒常的な滞納者に対し、随時電話連絡等を行い、期限内に納付するよう引き続き指導する必要がある。 ・下水道接続率を向上させるため、未接続の要因分析を行うとともに、接続率の低い地域の啓発活動を引き続き行う必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・滞納、接続率等の課題等について継続した対応を図る。 ・地方公営企業法適用に向けた業務を計画的に実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等（Check）　H31.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H30完了 ☐ H31完了予定

施策の実施方針	・上下水道施設の防災対策
担当課予算要求ポイント	・長期の停電等の災害に対応するための経費を計上
財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・下水道の防災対策（マンホールポンプ用発電機）については、必要台数を精査の上下水道特会に計上
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート（平成31年度予算）

事業名	22100　農業集落排水施設管理費		
担当課	水道部　下水道課	内線	2264

予算			
会計	8	農業集落排水事業特別会計
款	2	総務費
項	2	農業集落排水施設管理費
目	1	農業集落排水施設管理費

総合計画			
基本分野	5	基盤・安全
個別分野	5	上下水道
施策概要	5	下水道施設の整備
根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画	

市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。
概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥（一般廃棄物）を適切に処理する。 ・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う。

総合計画等　主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.8%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		H29 最終予算	H29 決算 (a)	H30 当初予算 (c)	H30 最終予算	H30 決算 (b)	H30 増減 (b)-(a)
		195,320	192,195	195,804			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
その他		195,320	192,195	195,804			
個票枝番	主な事業内容						
	農業集落排水施設の維持管理	195,320	192,195	195,804			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成（Action）

（千円）

H31予算 要求額	H31予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額 (d)	実施計画額 増減 (d)-(c)
			201,700
261,868	204,794	204,794	8,990
261,868	204,794	204,794	8,990

査定額	説明
204,794	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等（Check）　H30.8実施

事業実績	・所管する26か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。 ・マンホールポンプ103か所の保守点検を12回、清掃を年1～2回実施した。	
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。 ・設備の補修や部品等の交換を計画的に行うことにより修繕箇所を減らし、コスト縮減を図る必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・既設設備の修繕経費と設備の機種変更等に係る経費の比較を行い、コスト縮減に努める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等（Check）　H31.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H30完了 ☐ H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート（平成31年度予算）

事業名	22200　簡易排水施設管理費		
担当課	水道部　下水道課	内線	2264

予算			
会計	8	農業集落排水事業特別会計
款	2	総務費
項	2	農業集落排水施設管理費
目	2	簡易排水施設管理費

総合計画			
基本分野	5	基盤・安全
個別分野	5	上下水道
施策概要	5	下水道施設の整備
根拠計画		高山市下水道事業整備5か年計画

市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥（一般廃棄物）を適切に処理する。

総合計画等　主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.8%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		H29 最終予算	H29 決算 (a)	H30 当初予算 (c)	H30 最終予算	H30 決算 (b)	H30 増減 (b)-(a)
		3,758	3,609	3,758			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
その他		3,758	3,609	3,758			
個票枝番	主な事業内容						
	簡易排水施設の維持管理	3,758	3,609	3,758			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成（Action）

（千円）

H31予算 要求額	H31予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)
			3,900
4,389	4,658	4,658	900
4,389	4,658	4,658	900

査定額	説明
4,658	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等（Check）　H30.8実施

事業実績	・所管する4箇所の処理場において、定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、不稼働日の発生はなく放流基準を満たす処理が実施できた。	
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。	
次年度以降の考え方（担当課）	・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等（Check）　H31.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H30完了 ☐ H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート（平成31年度予算）

事業名	22300　小規模集合排水施設管理費		
担当課	水道部　下水道課	内線	2264

予算			
会計	8	農業集落排水事業特別会計
款	2	総務費
項	2	農業集落排水施設管理費
目	3	小規模集合排水施設管理費

総合計画			
基本分野	5	基盤・安全
個別分野	5	上下水道
施策概要	5	下水道施設の整備
根拠計画		高山市下水道事業整備5か年計画

市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。
概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥（一般廃棄物）を適切に処理する。

総合計画等　主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.8%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		H29 最終予算	H29 決算 (a)	H30 当初予算 (c)	H30 最終予算	H30 決算 (b)	H30 増減 (b)-(a)
		8,675	7,904	8,675			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
その他		8,675	7,904	8,675			
個票枝番	主な事業内容						
	小規模集合処理施設の維持管理	8,675	7,904	8,675			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成（Action）

（千円）

H31予算 要求額	H31予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)
		8,900	
9,162	10,085	10,085	1,410
9,162	10,085	10,085	1,410

査定額	説明
10,085	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等（Check）　H30.8実施

事業実績	・所管する9か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。 ・マンホールポンプ3か所の保守点検を12回、清掃を年1～2回実施した。	
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。	
次年度以降の考え方（担当課）	・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等（Check）　H31.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H30完了 ☐ H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート（平成31年度予算）

事業名	22400　個別排水施設管理費		
担当課	水道部　下水道課	内線	2264

予算			
会計	8	農業集落排水事業特別会計
款	2	総務費
項	2	農業集落排水施設管理費
目	4	個別排水施設管理費

総合計画			
基本分野	5	基盤・安全
個別分野	5	上下水道
施策概要	5	下水道施設の整備
根拠計画		高山市下水道事業整備5か年計画

市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。
概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥（一般廃棄物）を適切に処理する。

総合計画等　主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.8%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		H29 最終予算	H29 決算 (a)	H30 当初予算 (c)	H30 最終予算	H30 決算 (b)	H30 増減 (b)-(a)
		5,161	4,946	5,161			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
その他		5,161	4,946	5,161			
個票枝番	主な事業内容						
	個別排水施設の維持管理	5,161	4,946	5,161			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成（Action）

（千円）

H31予算 要求額	H31予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)
			5,400
5,130	5,161	5,161	0
5,130	5,161	5,161	0

査定額	説明
5,161	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等（Check）　H30.8実施

事業実績	・所管する57箇所の浄化槽において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。
次年度以降の考え方（担当課）	・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。 ☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等（Check）　H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H30完了 ☐ H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり